

団体活動

No.210 京都府更正保護女性連盟

- ・更生を支えるボランティアの組織。
- ・「京更女じかん」というPR誌もつくっている。
- ・連盟では、若草プロジェクトの全国ネットワークと連動し、“若草プロジェクト in kyoto”を立ち上げた。これまでの連盟の既存の枠を超えて、連盟有志と外部ともつながって、第1回会合を1月11日に開催した。
- ・3月2日(木)にスタートアップとしてのシンポジウムを開催予定で、広報の支援や企画立案の相談、行政部局との調整等を行っている。
- ・活動進化プログラムも受講中。



“若草プロジェクト in kyoto”

団体活動

No.106 京都市地域景観まちづくりネットワーク

- ・京都市オリジナルの“地域景観づくり協議会制度”の認定を受けた8地域が、昨年8月のおむすびミーティングを契機に自主的に立ち上げたネットワーク。
- ・義務付けられた事前の話し合いのチャンスを最大限に生かし、価値共有と仲間づくりを巧みに進めている。
- ・そのネットワークが、自分たちの取り組みを発信しようと12月11日(日)シンポジウムを開催した。160名の参加者で盛況で、各地域の個性的な工夫と、それゆえの制度活用幅の広さに、感心された方が多かったようである。
- ・行政からのパネリストの選定・調整、業界団体の後援や周知協力の取り付けなどでサポートした。



団体活動

No.217 洛西福祉ネットワーク

- ・急激な高齢化が進むなか、地域内での相互扶助や、高齢化に対応した生活環境が必要となっている。居場所カフェも盛んで、このネットワークで開催するわくわくサロンをはじめ、10箇所程度が実施されており、それらの交流会も開催している。
- ・買い物環境が不便なことが、大きな課題で、週3回の朝市（買い物の取次ぎ）や京都生協のおかいもの便（巡回移動店舗）などの取り組みをやってもらったりしているが、まだまだ充実が必要である。
- ・次年度、介護予防・日常生活支援総合事業の導入を予定しており、これに向けた体制づくりについてサポーター派遣を活用して整える予定である。
- ・1月22日(日) ラジオ番組「Let's kyo together」でも取り組みを紹介した。



竹の里サブセンター広場での朝市の様子

提案者紹介

No.211 内田郁文氏

- ・日新システムズの営業から事業企画担当に異動したことをきっかけに、外に出るようになった。
- 
- ・同志社のソーシャルイノベーションプログラムへの参加などを通じて、つながりを手繰り寄せる形で、活動進化プログラムに参加。「お宝バンクに提案を」といわれて提案をした。
 - ・「いまさらきけない〇〇シリーズ」として、エレキナイト#1を12月14日に開催。10名ほどが参加。No.218 100サルの大野さんが後押しをした。
 - ・とても触手が伸びている感じの方で、こういう領域？にはまった感じ。これから展開が広がりそう。
 - ・活動進化プログラム受講中
 - ・みんなごと関連の事業が土壌となって、自身でイベント企画をするようになった方

提案者紹介

No.31 富沢成夫氏

- ・着物の再利用した着物壁掛けやタペストリー製作をやっている。これらの技術を活用して、愛着のある着物を着ないけど捨てられない人に、リサイクルの選択肢の提供をしたいという方。
- ・リサイクル講座やイベントでの活用をということで、エコセン、ごみ減とつないだ。
- ・また、サポーター派遣を活用して、イベント経験の豊富なNPOなど



着物を活用した、タペストリー(左)や壁掛け(右)

団体活動**No.149 胎教協会**

- ・胎教アドバイザーの養成をしつつ、胎教を広めようという団体。
- ・胎教は、正しいやり方をすれば、産後の知能の発達にもよい効果がある、夜鳴きもしない。妊娠期から親子の関係づくりが出来れば、虐待なども減ることができる。
- ・京都から胎教を広めるために、胎教協会の全国大会・シンポジウムを来年5月7日に京都で開催することになった。
- ・企画立案、講師選定などのサポートのほか、サポーター派遣を活用した広報支援などを実施予定。
- ・胎教については、現在行政の担当部署はないため、行政との連携をどう組み立てるかが課題。
- ・4月にはラジオ番組で広報予定。

提案者紹介**No.88 由良知子氏**

- ・通訳案内士の活動を通じて、本物の京都、京都の奥深さを紹介したいという方。
- ・そのための仲間づくりとして、景観という切り口から京都の魅力を掘り起こしている京都景観フォーラムや地域の歌や踊りを受け継ぐ洛北伝統芸能研究会などを紹介し、つながりを作った。
- ・活動進化プログラム受講中。

提案者紹介**No.199 山本智子氏**

- ・No.199 医療情報キット、No.200 ケアラー支援サイトの提案者。
- ・1月22日(日) ラジオ番組「Let's kyo together」で、医療情報キットについて取り組みを紹介した。
- ・京都市は、独自の安心カードを活用する方向で、現場状況での活用という形で連携するとのこと。いずれにしても普及対策が課題。
- ・山本氏は、介護の傍ら、ネット上を主として、活動を展開。

団体活動**No.105 京都景観フォーラム**

- ・サポーター派遣の第1号。
- ・主に会員制度の見直しを軸に、事務局体制の改善と資金調達方策の検討を行った。
- ・市民サポーター3人が、各自3回の派遣に応じていただき、最終回には、市民サポーターの皆さんから、景観フォーラムに対し、まとめた提案を行った。
- ・景観フォーラムでは、次年度の事業計画に、これらを反映していく方向で、今後の理事合宿等に臨む予定とのこと。



サポーター派遣の会合の様子